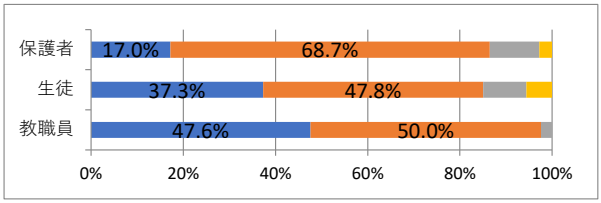
令和5年度　学　校　評　価

そう思う　どちらかといえばそう思う　どちらかといえばそう思わない　そう思わない

① 豊かな心をはぐくむ教育の推進

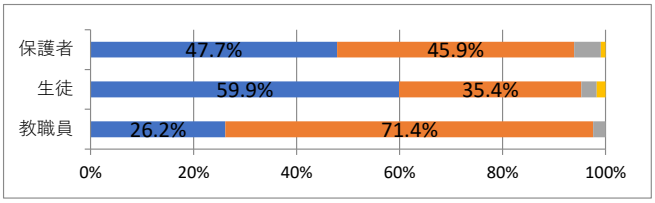
1 一人一人の児童生徒の尊重

学校は、一人一人の子どもを大切にした指導や対応ができていると思いますか。



2 友達の思いやり

子どもは友だちと仲良くしていると思いますか。

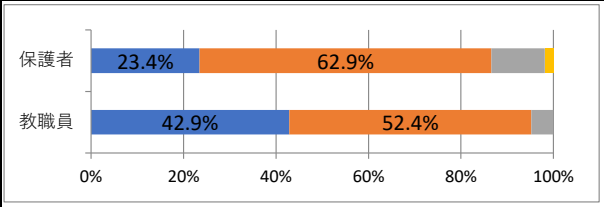


○「1 一人一人の児童生徒の尊重」…保護者・生徒ともに「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合は８割程度。学級担任を中心に生徒一人一人への声かけや細やかな支援、生徒指導の三機能を意識した取組を行い、生徒の自己有用感や自己肯定感を高めていくよう努める。
○「2 友達の思いやり」…保護者・生徒・教職員とも「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合は９割超。月一回のきずなアンケートや年一回の心のアンケート、定期的な教育相談を継続し、生徒の様子を把握していく。

① 豊かな心をはぐくむ教育の推進

3 道徳・心の教育の充実

学校は豊かな人間性をはぐくむ心の教育の充実に努めていると思いますか。（礼儀、生命尊重、思いやりなど）

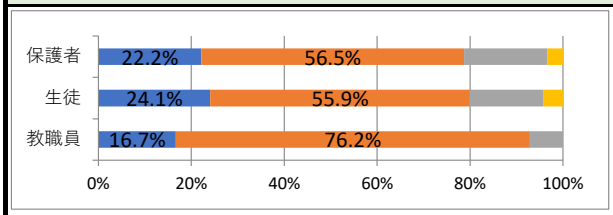


○「3 道徳・心の教育の充実」…保護者・教職員ともに「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合は８割超。数年前からローテーションをしながら授業を行っており、様々な視点から充実を図っている。また、おがたまタイムにおいてお互いの心を育てる効果的な取組も実践している。

② 確かな学力を育む教育の推進

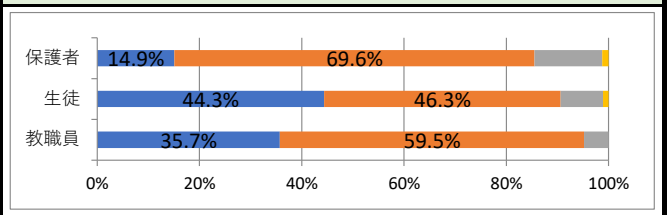
4 意欲的な学習態度

子どもは意欲的に授業に取組んでいると思いますか。



5 授業力向上

先生方はわかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。

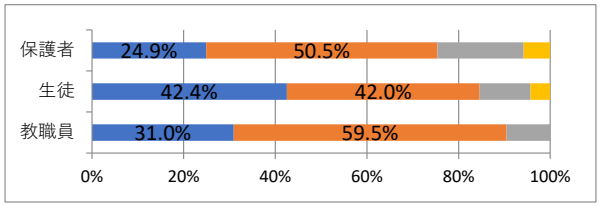


○「4 意欲的な学習態度」…保護者・生徒に関して「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合は８割に満たない。このことから学校における学習の充実に加え、家庭学習の充実を図り、家庭との連携を深める。
○「5 授業力向上」…生徒の「どちらかといえばそう思う」の割合が他と比べて低い。本校がテーマとしている「対話と振り返り」の充実を一層推進していく必要がある。引続き授業力向上に努める。

② 確かな学力を育む教育の推進

6 ICT活用

子どもはタブレット端末を活用して学習していると思いますか。

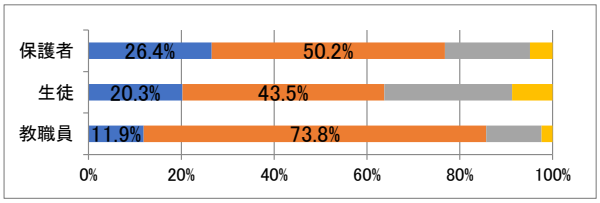


○「6 ICT活用」…保護者・生徒・教職員ともに７割超。ここ数年で活用頻度も増してきているが、さらに充実発展した活用ができるよう工夫改善していく。

③ 健やかな体を育む教育の推進

7 健康づくり

子どもは好き嫌いなく食事をし、適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。

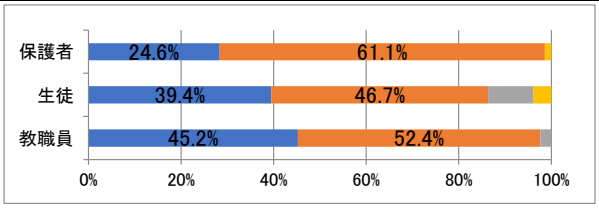


○「7 健康づくり」…保護者・教職員は７割超だが、生徒は６割程度である。学校では給食を中心とした食育、体育の授業における体力向上に努めているが家庭での食事、睡眠等に課題を感じる。保護者と学校が連携を取り、改善に努めていく。

① いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実

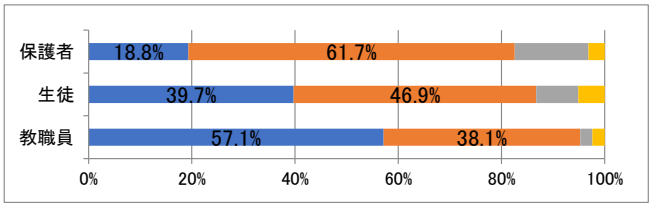
8 児童生徒理解

先生方は子供の良さを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。



9 いじめや問題への対応

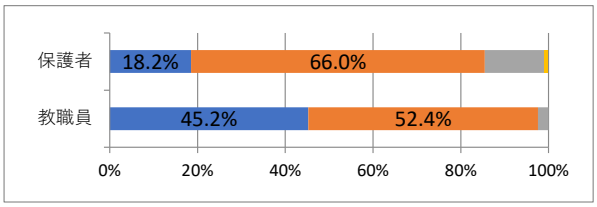
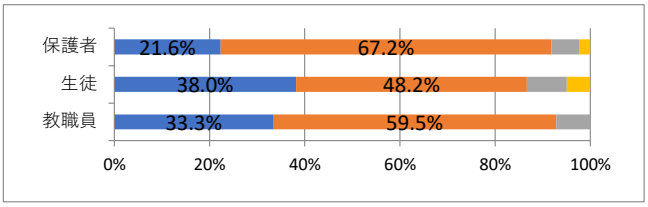
学校ではいじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。



○「8 児童生徒理解」…「そう思う」にそれぞれ差がみられる。今後も「生活ノート」や「きずなアンケート」、教育相談等を利用しながらこれまで以上に生徒のよさの発見に努め、教職員間や家庭との連携を密にし、情報を共有していく。

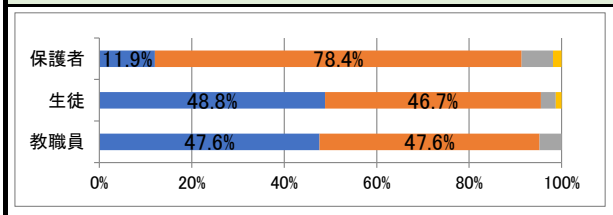
○「9 いじめや問題への対応」…「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合がそれぞれ８割超だが、「そう思う」の割合では保護者と教職員の差が大きい。今後もいじめの未然防止、早期発見早期対応、再発防止には全職員で取組み、家庭との連携を図る。

② 特別支援教育の推進

10 学校の支援体制	11 共生社会を担う人材の育成
学校は支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取組んでいると思いますか。	10組及び11組、12組との交流及び共同学習等の実施は相互理解の促進につながっていると思いますか。
	

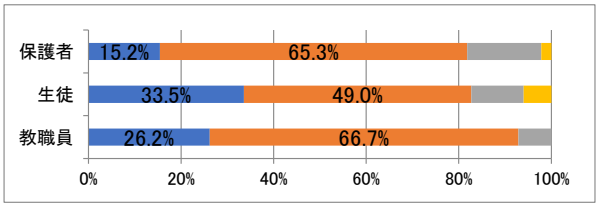
○「10 学校の支援体制」…「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合はそれぞれ8割超。生徒一人一人に応じた細やかな指導を行い、教育相談の充実や関係機関との連携等による支援体制を保ちつつ、生徒指導部会や登校支援委員会にて今後も組織的な対応を機能させていく。
○「11 共生社会を担う人材の育成」…「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合はそれぞれ8割超。今後も10組、11組、12組との交流学習や共同学習等を充実させて相互理解の促進に繋げていく。

① 子どもたちの身近な安全対策の充実

12 安全と事故防止	
学校は子どもの事故防止などの安全教育に取組んでいると思いますか。	
	

○「12 安全と事故防止」…「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合はそれぞれ9割程度。学校では避難訓練等を定期的に実施したり、交通安全の啓発を行っており、今後も取組の継続と状況に応じた啓発を進めていく。

② 最適な学習環境の整備

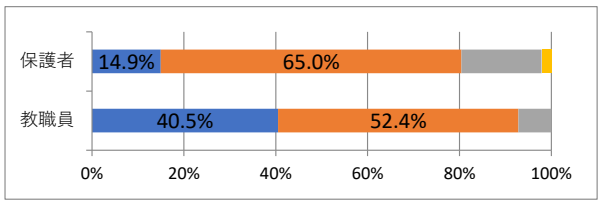
13 施設・設備の安全管理	
学校の施設・設備は安全でよく整備・管理されていると思いますか。	
	

○「13 施設・設備の安全管理」…「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合はそれぞれ8割程度。毎月の安全点検を行うことで学校内の安全を確保していく。また、今年度も木々の伐採・剪定を行い、環境整備にも努めている。

③ 家庭・地域社会との連携強化

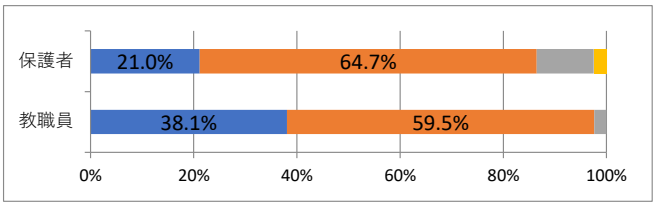
14 教育方針・目標の理解

学校は学校の教育方針や教育目標などを子どもや保護者、地域にわかりやすく示していると思いますか。



15 家庭や地域との連携協力

学校は家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

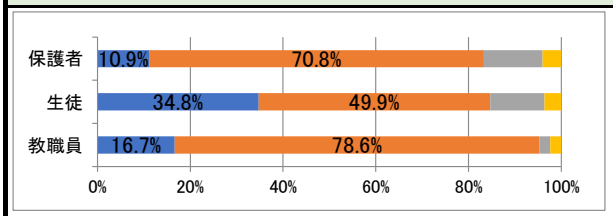


○「14 教育方針・目標の理解」…保護者・教職員とも「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が8割超。学校から「学校だより」や「食育だより」などを学校HP上に掲載することで教育方針や目標を伝え、生徒にも学校行事等を通して伝えている。今後も継続していく。
○「15 家庭や地域との連携協力…保護者・教職員とも「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が9割超。学年だよりや学級だより等を通じて家庭との連携を図るほか、地域交流推進事業や学校支援ボランティア等で地域との連携強化を図っていく。

⑧ 本校の教育

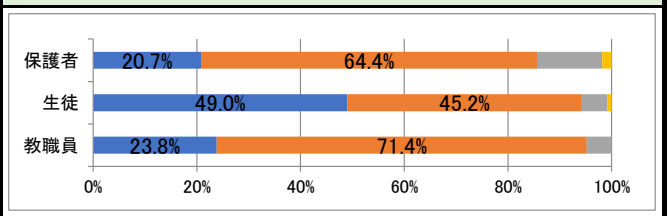
16 仲間づくり

子どもはいじめがなく、支え合い、高め合う仲間づくりができていると思いますか。



17 学び合い

子どもは仲間と協力し合い、学び合いながら学習を進めていると思いますか。

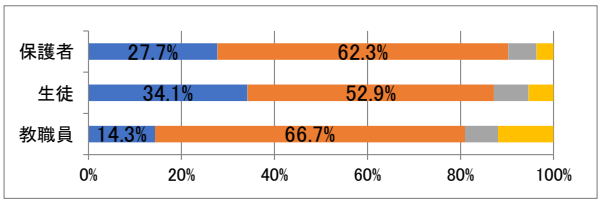


○「16 仲間づくり」…「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合はそれぞれ8割超。しかし、生徒と教職員の「どちらかといえばそう思う」の部分で差が大きい。今後は学級活動やおがたまタイムなどの心の教育、学校行事等で同じ目標に向かって協力し、互いの良さを認め合う活動の推進を図っていく。
○「17 学び合い」…今後も今年度テーマである対話的な学びに重点を置いた授業づくりに努める。

⑧ 本校の教育

18 基本的生活習慣

子どもは挨拶や身なり、時間を守るといった基本的な生活習慣が身についてきていると思いますか。



○「18 基本的生活習慣」…「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合はそれぞれ8割程度あるが、保護者・生徒と教職員の間で差がある。学校では引続き身だしなみや挨拶、時間厳守などを徹底しながら家庭にも協力をお願いし、連携して基本的生活習慣の定着に努めていく。

来年度の具体的な取組について

〇授業改善と授業力の向上（ステップアップサポーターの活用や公開授業の確実な実施）
〇ICT機器の有効かつ効果的な活用と生徒の学習意欲の向上
〇生徒の心の成長を促すための道徳教育の充実
〇生徒会活動を中心にした生徒が主体的に取組む活動の充実
〇自己指導能力育成に向けた生徒の自発性・自主性・自律性の育成
〇校内支援委員会の活性化と特別支援教育の充実
〇家庭と連携した基本的生活習慣の定着

学校関係者評価

〇全体的に見て「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が多く、学校経営や学校全体がうまくいっているのではないかと推察できる。日常の西原中において、HPの「西原点描」「学校だより」「食育情報局」等の情報発信が奏功しているものと思われる。
〇「4 意欲的な学習態度」の評価が保護者生徒でやや低い。家庭学習に繋げる授業の振り返りが必要である。
〇「6 ICTの活用」の項目に関して保護者の肯定的な評価がやや低い。また、「7 健康づくり」の項目について教職員に比べ、保護者や生徒の評価が低い。6と7の関連性があるものと考える。